

桑中便り



松山市立桑原中学校
令和6年4月号
学校ホームページへ→



穏やかな陽気に春本番を感じる季節となりました。4月9日(火)、多くの御来賓の方にお祝いしていただく中、新入生190名が入学いたしました。2年生190名、3年生159名と合わせて539名の生徒と教職員が、桑原中の新たな1ページを刻むべく、これから活動して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

この「桑中便り」では、学校生活の様子や月の行事予定をお知らせしていきます。

○ 入学式の様子



校長式辞



誓いの言葉



歓迎の言葉



吹奏楽部演奏

入学式校長式辞（一部抜粋）

本校の校訓は『愛し』『鍛え』『敬う』です。校訓は生徒の皆さんが立派な大人に成長していくための教えです。学校で学ぶ最大の利点は人との関わりの中で学ぶことだと思います。また、人との関わりなく、社会を生き抜くこともできません。本校の校訓には、人との関わりを大切にしながら、自分を高めていきましょうという願いが込められています。校訓に込められた願いを実現していくために、これまで2年間、生徒・教職員ともに2つの合言葉の下、中学校生活を送ってきました。合言葉を紹介したいと思います。

一つ目は「目を見て挨拶」です。新しい仲間たちに、話し掛ける勇気が出なかったとしても、相手の方を見て、勇気を出して挨拶してみてください。そのとき、相手が、元気がないようであれば、「どうしたの、体調でも悪いの」と優しい言葉を掛けてみてください。「一緒にやろう」と勇気付ける言葉を投げ掛けてみてください。挨拶が不安を解消する最善の方法であり、仲間との関わりを始める第一歩になります。

二つ目は「人の話は目で聴く」です。友達が言っていることや先生方や御家族の方の話を、視線を上げてしっかりと聞いてみてください。そこには、あなたが成長するために必要なことやあなたを思う温かい気持ちが込められています。人を敬う気持ちをもって、周りの言葉に耳を傾けていれば、きっと、皆さんがよりよく生きていくための道標となるよい言葉に出会えるはずです。

この二つの合言葉は、校訓の「愛し」「敬う」に沿ったものです。

これに加え、**「心を磨く」**を三つ目の合言葉として紹介します。

勉強やスポーツ、部活動、清掃活動やボランティア活動などに、積極的に取り組んでください。目標を立て、いろいろな活動に挑戦し、成功すれば自信につながります。失敗したとしても、次の新たな挑戦のための力になります。校訓の「鍛え」を実現するための合言葉です。この三つの合言葉の下、生徒・教職員ともに相手意識を持って生活することを心掛け、充実し中学校生活を送ることで、互いに認め合い、高め合うことができる素晴らしい桑原中学校になるはずです。人との関わりを大切にしながら、様々なことに挑戦していきましょう。